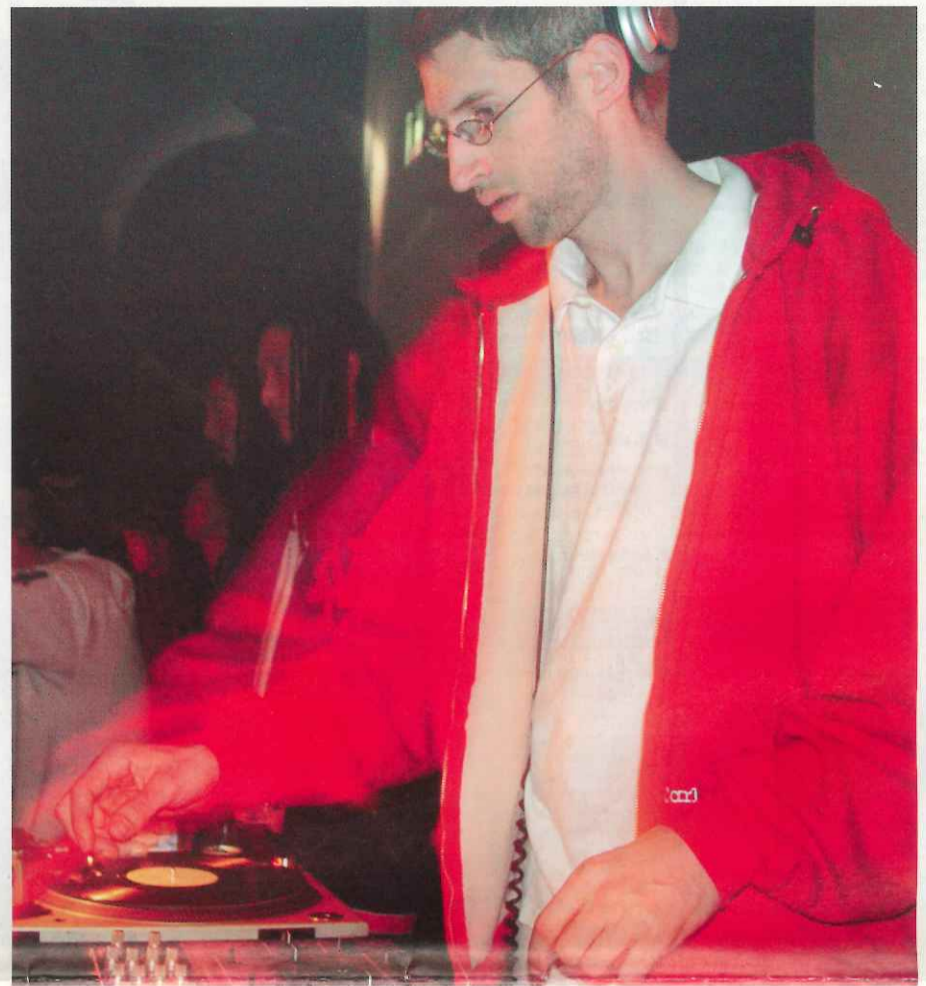


feature interview

DJ STRETCH ARMSTRONG

3/25RED ZONE SPECIALにて3度目の来日を果たすDJ STRETCH ARMSTRONGの来日事前インタビュー。HIP HOP界において必要不可欠な存在であり、今なおDJ/プロデューサーとして第一線で活動している彼が最近の活動や独自の音楽観を率直に語ってくれた。彼の貴重なメッセージを熟読しつつ、文面だけでは感じ取りきれない彼の経験と知識に基づいたバイブスを是非生でキャッチして欲しい。



■最近の活動について教えてください。

まず、ラジオはもう辞めた。辞めてからもう1年になるね。長いことやってたんだけど、ラジオを辞めたのは僕にとってすごく良かったと思ってる。最近正直いって、プロデューサー業よりもビジネスの方に興味があるんだよね。NYのSOHOに自分のレコーディングスタジオを造ったんだ。良い機材が沢山揃ってるよ。SSL G+, 2", Pro-Toolsとか。それ以外にも面白いものが沢山あるんだ。今のところ、Beastie Boys, 50Cent, Keith Murray, James Brown, Mobb Deep, The Beatnuts, Myaとか、それ以外にも沢山のアーティストが僕のスタジオでレコーディングしてるよ。今はその新しいスタジオの経営とか、プロダクション会社の経営とかの方が楽しい。今僕のプロダクション会社に所属しているのは最近Biggieと50Centの"The Realest"や同じく50Centの"U Not Like Me"をプロデュースしたRush a.k.a Red Spyda。彼はすごくいいプロデューサーだね。あとEMINEMの主演映画『8Mile』のサウンドトラックに収録されてるObie Triceの"Adrenaline Rush"も彼の作品だし、今彼は2pacと50Centのコラボレーション曲を作ってる最中だよ。多分皆が聴けるまでには、もう少し時間が掛かるけど、すごく格好良から楽しみにしててよ。僕の作品を楽しみにしてくれてる人には申し訳ないけど、僕は今裏方の人間になって、それを楽しんでる。新しい若い才能を育てることが、今の僕にとっては重要だし興味があることなんだ。

■最近あなたが注目している新人アーティストがいたら教えてください。

沢山いるけど、最近気に入ってるのはHARLEMのコンピレーションの曲にも参加してるけどPhiladelphia出身のPretty Uglyかな。彼はいいね。才能あるよ。あと50Centもいいね。

■50Centと言えば、最近彼はEminemのレーベルShady Recordsとサインしましたね。以前あなたはEminemのツアーDJを務めていたこともありましたが、EMINEMについてはどう思いますか？

Emはモンスターだよ。僕の好きなアーティストTop3にも必ず入るけど、彼程才能のあるラッパーはそういないね。しかも、人としてもすごくいい奴なんだ。今でも既にビッグアーティストだけど、これからの将来もすごく楽しみなアーティストのひとりだね。

■Dolo Recordsについて教えてください。

Dolo Recordsのコンセプトとか設立のきっかけは、僕がやってたラジオ番組Stretch Armstrong Showで見つけた才能を世に送り出す媒介物が欲しかったからその為に作ったレーベルだったんだ。才能を持つアーティストがデビューするのを目的地だとすると、そこまでアーティストを運ぶ車の役割を果たすことがDolo Recordsの目的だった。

■あなたがリミックスしたBIG NOYD "USUAL SUSPECTS" は日本でも大変人気があった、HIP HOPクラシックの1つです。この曲について教えてください。またご自身のベストワークは？

特にこれといって話す様な事は、実はあまりない(笑)僕は昔からずっとQueensBridgeのアーティスト達とは仲が良いんだけど、本当に突然って感じで、この曲をリミックスしてくれたって頼まれたんだよ。当時僕はまだプロデューサーとしてはほとんど初心者だったのにも関わらずだよ。時々自分のラジオで、自分がリミックスした曲をかけたり、自分が作ったインストで誰かにラップしてもらったりはしてたんだけどね。このUsual Suspectsに関して言えば、僕的には正直言ってあまり自分の作品だとは認識してないんだけど、でもこのリミックスの出来には凄く満足してるよ。

■あなたが曲を制作する時はラッパーをイメージしてビートを作るのですか？それともビートが先でその後、ラッパーを選ぶ感じですか？

まず曲全体のコンセプトが先あって、そこからそのアイデアに基づいて曲を少しづつそのイメージに近づけていって感じかな？だからラッパーを選ぶ時もその曲のイメージに近い人を探す事が多いね。誰かにビートを提供するって時は、僕はそこにあまり関わらない。ビートだけ渡して、ラッパーやアーティストがそのビートを好きな様に使うって感じ。でも、ビートを提供するだけってのはあまり好きじゃないね。曲のコンセプトから、イメージとか最初から全部をプロデュースしていく方が全然楽しいよ。

■昨年HARLEM RECORDINGSからリリースされたHARLEM ver.1.0に参加されましたが、あのアルバムに参加してみたいかですか？

あのコンピレーションに参加できたのは、とても光栄に思ってるよ。HARLEMがこういうコンピレーションを作るって聞いた時は正直あまり驚きはしなかった。ハーレムは長い間日本のヒップホップシーンの中心であったわけだし、そろそろこういう事をハーレムがやり始めても全然おかしくないと思う。凄くいいアイデアだと思うよ。HARLEMじゃなきゃこんな大きい規模のプロジェクトは出来ないんじゃないかって思うしね。HARLEMは最高だね。僕の大好きなクラブの一つだよ。HARLEM以外の日本のクラブ、ヨーロッパとか他の国のクラブとかでもいるいるプレイしてきたけど、結構皆踊らずにただウロウロしてるだけだったりとか、立って見るだけとかよくあるんだ。でも、HARLEMが他のクラブと違うのはそこに居る人皆が『楽しもう！』って思ってるって事。それがすごく伝わるよ。あのバイブはなかなか体験出来ないね。だからいつもHARLEMに来るのが楽しみで仕方ない。

■あのApe Somethingという曲について教えてください。

あれに参加してるのは、僕がラジオを通して知り合った奴らなんだ。たまたまこのアルバムに参加する話が来た時、丁度格好いいビートがあって。プロモ用に作ってあったんだけど、どうしようか？って思ってたところだったんだ。で、じゃあこの曲をHARLEMのコンピ用に使おう！って決めたら、参加したい！って奴らが大勢集って来て来たのがあの曲。この間MUROのRemixバージョンも送ってもらって聞いたけど、あれも凄く格好良く出来上がったね、凄く気に入ったよ。

■あなたはオールドスクール期から今までずっと第一線としてシーンを見守って来たいわば数少ない本物のDJの1人だと思います。率直に現在ここまで肥大化したシーンの状況をあなたはどう捉えていますか？

そうだね。正直言って、今のヒップホップは僕の目にはすごく俗的に見える。誰のどの曲を聞いても同じに聞こえるし。同じプロデューサー、同じラップのスタイル、同じテンポ... 全く興味が湧かないと言ってもいいね。悲しい事だよ。それがラジオを辞めた理由でもあるし、辞めて良かったと思ってる。

■あなたは90年代のインディペンデントHip Hopにおける最大の功労者だと思います。インディペンデントHip Hopの魅力とは？また何故そこまでインディペンデントHip Hopにこだわっていたのでしょうか？

とにかくインディペンデントが好きなんだ。そこに『メジャーかインディーか？』なんて疑問を感じる余地なんて無かったし、それ以外にも考えられないくらいインディーに夢中だった。それに、インディペンデントなHip Hopが最先端というか、だれよりも先を行っていた感じがしたからかな。とにかく無条件と言ってもいいくらいハマってたね。

でも悲しいことに時代と共に色々な事が変化して、今じゃほとんどのインディペンデントの作品もメジャーと同じくらいつまらないものになってしまった気がする。個人的な意見でしかないけど、最近じゃメジャーの方が良いHip Hopが多いんじゃないかって思うからね。

■NYのHip HopのDJにしては珍しく、Hip Hopだけではなく幅広い選曲があなたの最大の魅力だと思います。そういった幅広いジャンルの音楽を聞くようになったきっかけはありますか？

小さい頃からとにかく『音楽』が好きで好きで仕方なかった。音楽に取り憑かれてるってぐらい夢中だったんだよね。小さい頃はRock centerに聴いてた。小学校5年生(10才)の時、Rapper's Delightを初めて聴いた時は衝撃を受けたよ。Hip-Hopとの関係が始まったのはそこから。

そして、その後やっとクラブとかに行ける年齢になって、色々なクラブに行き始めて、そこで今度はいわゆるCLUB MUSICとかDANCE HALLってものに会った。それも凄く新鮮だったね。

あと、僕の姉が昔からBeastie BoysとかRick Rubinと仲良くしてよく一緒にいるんだ。彼女は当時Disco Musicに夢中で、その影響も受けたし、その後彼女がハマったPUNKも彼女の影響で聴くようになった。とにかく僕の周りにはいつも音楽があったし、音楽が好きで好きで仕方ないんだ。本当『音楽』無しじゃ生きられない。それがSalsaでもRockでも、音楽を愛してる。ただそれだけの事なんだよね。

■DJなどHip Hopを表現することで世の中に伝えていきたいメッセージはなんですか？

僕がDJをする理由はただ一つ。皆に音楽をもっと理解して知ってもらいたいし、楽しんでもらいたい。音楽は素晴らしいものだから、自分がそうだった様に皆にもハマってほしいからかな？でも、正直、昔音楽がもっとUNDERGROUNDだった時の方が個人的にも、DJとしても楽しかったな。UNDERGROUNDだった時って、新しくカッコイイ音楽を知る為には皆DJに頼るしかなかったじゃない？でも、今じゃそれが変わってしまったんだ。

僕はもうラジオの仕事は辞めてしまったけれども、その決断は間違っていないと思う。でもやっぱり自分が今までやってきた仕事の中で一番良かったと思うのは、ラジオでDJが出来た事かな？とも思うんだよね。自分の番組でかけた全てのトラック/レコードが自分の最高の作品だと思ってるし、Wu-Tang, Busta Rhymes, Mobb Deep, Nas,

Biggie, Jay-Z, Big-L, Large Professorとかそれ以外にも沢山のアーティストの曲を世界中の誰よりも先にラジオでかけたんだって事は凄く誇りに思ってるし、最高に荣誉ある仕事だったと思ってるよ。

■あなたにとっての良いDJとはどんなDJでしょう？

良いDJになる為に必要なものは、自分のオリジナルのスタイルと、皆を楽しませる才能。そして時には驚かせる様な面白いセレクションが出来る事かな？自分で自分なりの道を切り開いていかないといけないんじゃないかな？もちろん、タイミングだったり、テクニックの繊細さとかの技術面、自分の持つコンセプトも皆がカッコイイって思うようなものじゃなきゃいけないんだけど。でも、それが誰かの真似だったり、人と同じ事をしててもダメだよ。とにかくオリジナルでいること。人と違う事をしなきゃ意味ないよ。

■今回の来日は3度目になるわけですが、どういった感じのショーになるのか教えてください。

前回よりもっと沢山色々な曲をかけたいと思ってる... けど、どうなるか分からないな。来てからの楽しみとだけ言うておこうか？(笑)とにかく楽しいPARTYになることは間違いないから、絶対来て欲しいな、楽しんでもらえる自信はあるよ！

■最後にファンの皆さんにメッセージをお願いします。

もうすぐ会えるのを楽しみにしてるよ！！

"STRETCH ARMSTRONG" ALL TIME FAVORITE

- (ジャンル別)
- *Hip Hop*
 1. Bizmarkie "Make The Music With Your Mouth" and/or "Nobody Beats The Biz"
 2. Doug E. Fresh and MC Ricky D(Slick Rick) "La Di Da Di"
 3. Beastie Boys "Paul Revere"
 - *Dance Classics*
 1. The Clash "Radio Clash"
 2. ESG "Moody"
 3. Marvin Gaye "Got To Give It Up"
 - *House*
 1. Mr. Fingers "Can You Feel It"
 2. Jay Williams "Sweat"
 3. Raze "Break 4 Love"
 - *Rock*
 1. Zombies "Time of the Season"
 2. Eric Burdon and War "Spill The Wine"
 3. ELO "Evil Woman"
 - *Rapper*
 1. 50 Cent
 2. Eminem
 3. Nas
 - *Producer*
 1. Neptunes
 2. Dr. Dre
 3. Rush aka Red Spyda
 - *Sushi*
 1. Uni
 2. Aoyagi
 3. Amaebi